

奈良県観光客動態調査報告書

平成31年1月～令和元年12月

奈良県観光局インバウンド戦略・宿泊力向上室

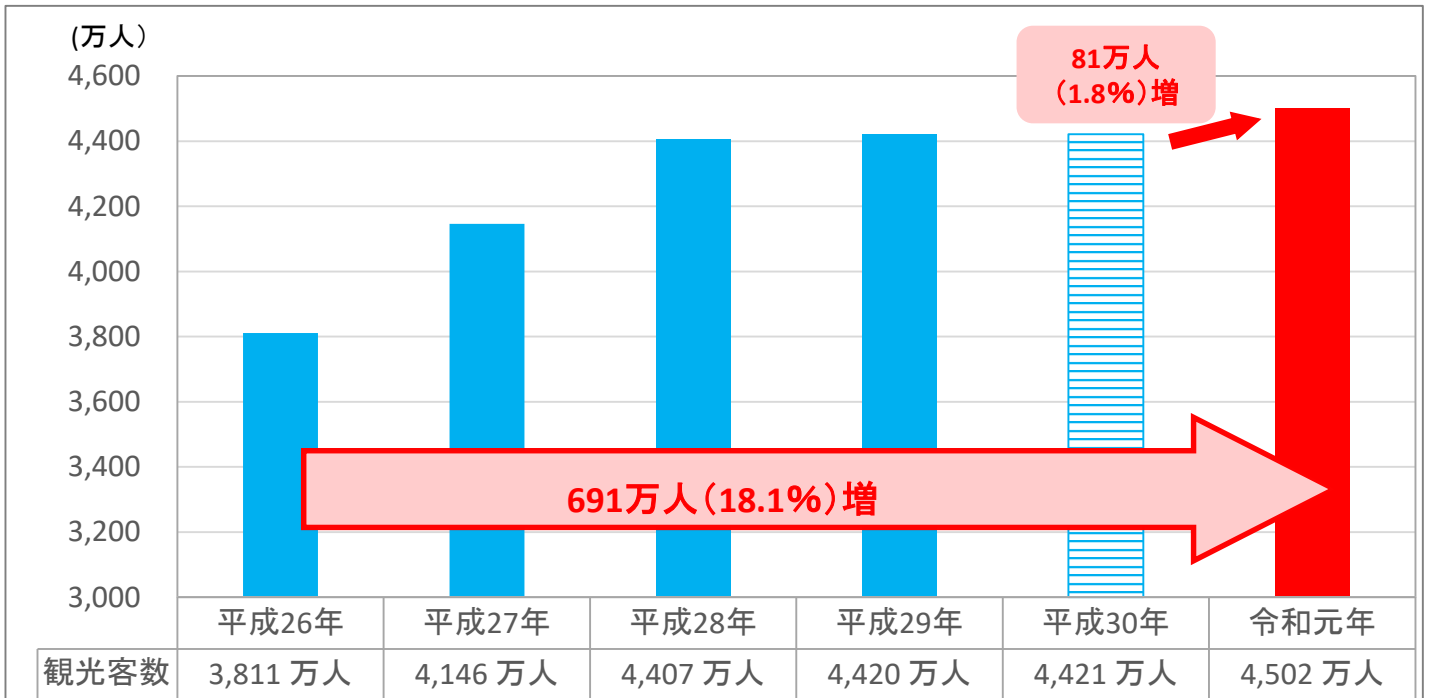
1. 奈良県への観光客数(延べ人数)

令和元年の奈良県観光客数は**4,502万人**で、前年比**81万人(1.8%)**の増加となりました。
平成26年と比較すると**691万人(18.1%)**の増加となりました。

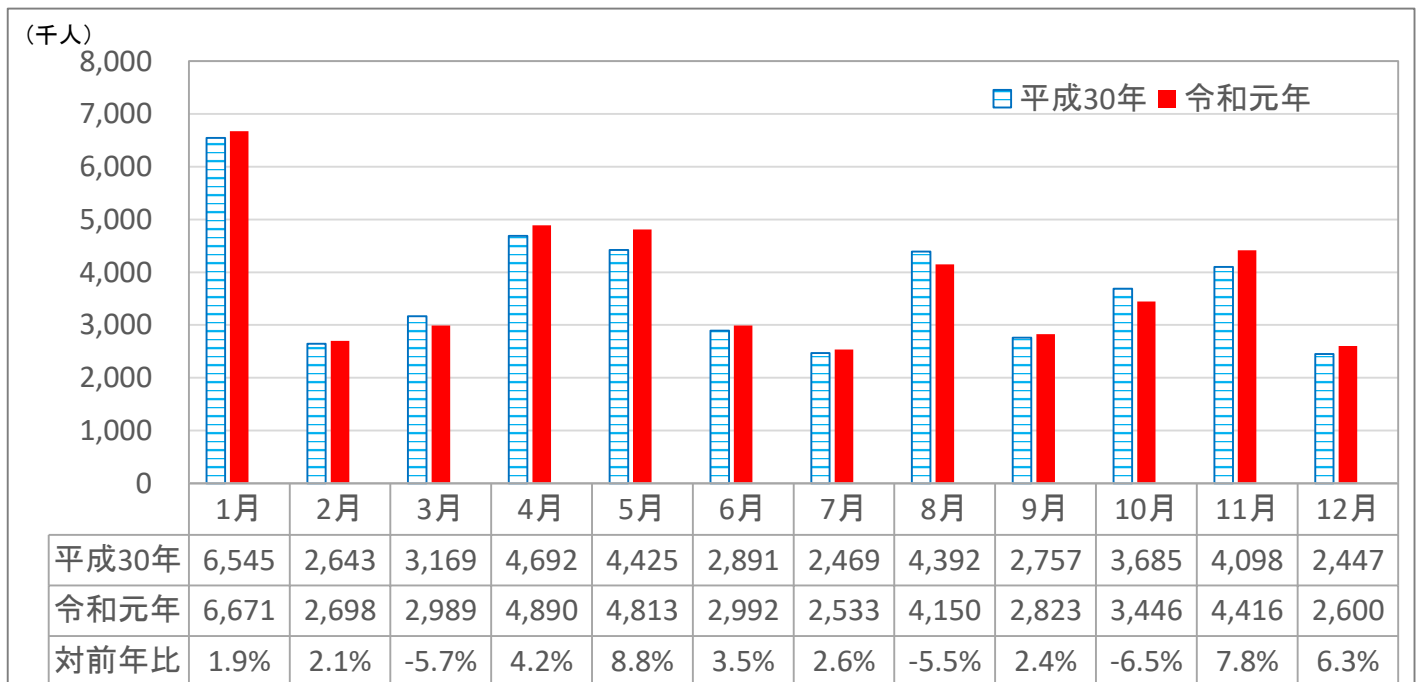
令和元年結果を月別にみると、8月及び10月は台風の影響による減少が見られた一方、5月は10連休となったゴールデンウィーク及び「令和」への改元の効果、11月から12月にかけては改元に伴う関連行事の効果などにより、増加となりました。また、桜の見頃の時期の影響で、3月は減少、4月は増加となりました。

年間を通しては、訪日外国人観光客の増加もあり、前年比81万人(1.8%)の増加となりました。

延べ観光客数推移【平成26年～令和元年】

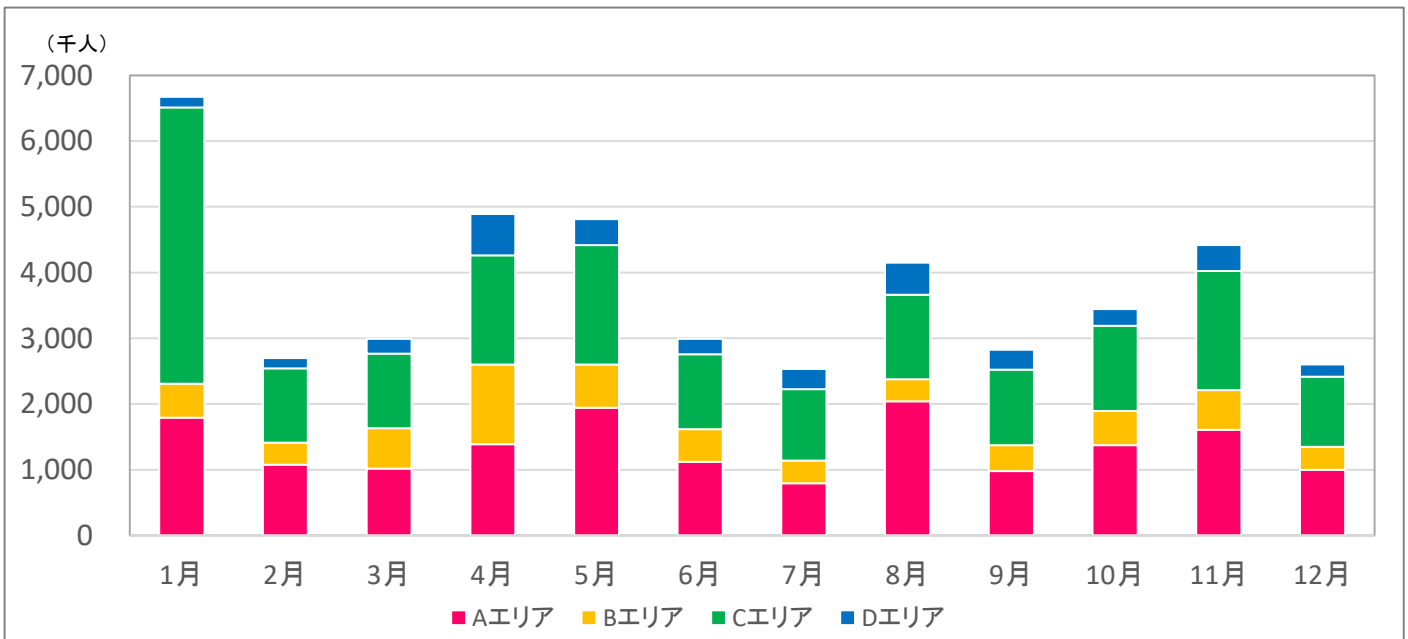


月別観光客数比較【平成30年、令和元年】



2. エリア別観光客数

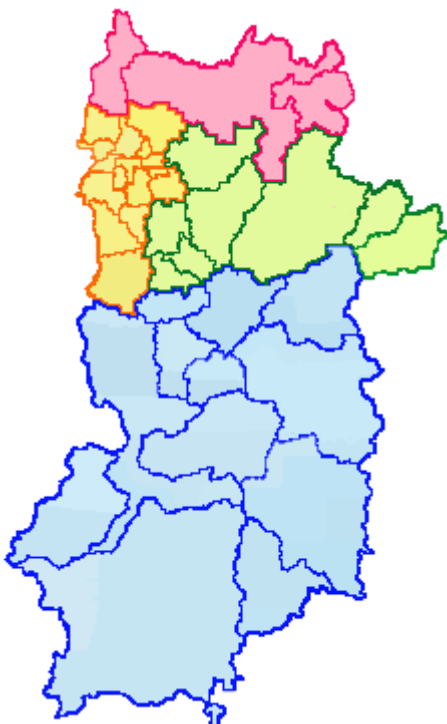
エリア別・月別観光客数



(単位:千人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
Aエリア	1,795	1,078	1,019	1,389	1,942	1,122	796	2,039	977	1,372	1,608	998	16,136
前年比	-0.4%	2.7%	3.7%	-5.2%	2.6%	1.4%	2.8%	-5.0%	-6.2%	-1.0%	3.2%	-0.9%	-0.5%
Bエリア	512	334	611	1,213	658	496	345	340	397	523	604	353	6,386
前年比	11.0%	21.2%	-18.2%	10.2%	1.7%	7.0%	15.2%	-0.2%	15.0%	-9.9%	4.1%	26.2%	4.3%
Cエリア	4,204	1,132	1,136	1,658	1,816	1,137	1,083	1,283	1,149	1,296	1,809	1,067	18,771
前年比	2.0%	-2.7%	-4.8%	8.2%	22.3%	5.7%	4.4%	-0.1%	5.3%	-10.0%	15.2%	10.1%	4.5%
Dエリア	160	154	223	631	397	237	308	488	300	255	395	182	3,730
前年比	-1.2%	0.3%	-9.0%	6.2%	-0.8%	-3.4%	-13.8%	-21.4%	7.6%	-8.4%	1.8%	-4.3%	-4.7%
計	6,671	2,698	2,989	4,890	4,813	2,992	2,533	4,150	2,823	3,446	4,416	2,600	45,022
前年比	1.9%	2.1%	-5.7%	4.2%	8.8%	3.5%	2.6%	-5.5%	2.4%	-6.5%	7.8%	6.3%	1.8%

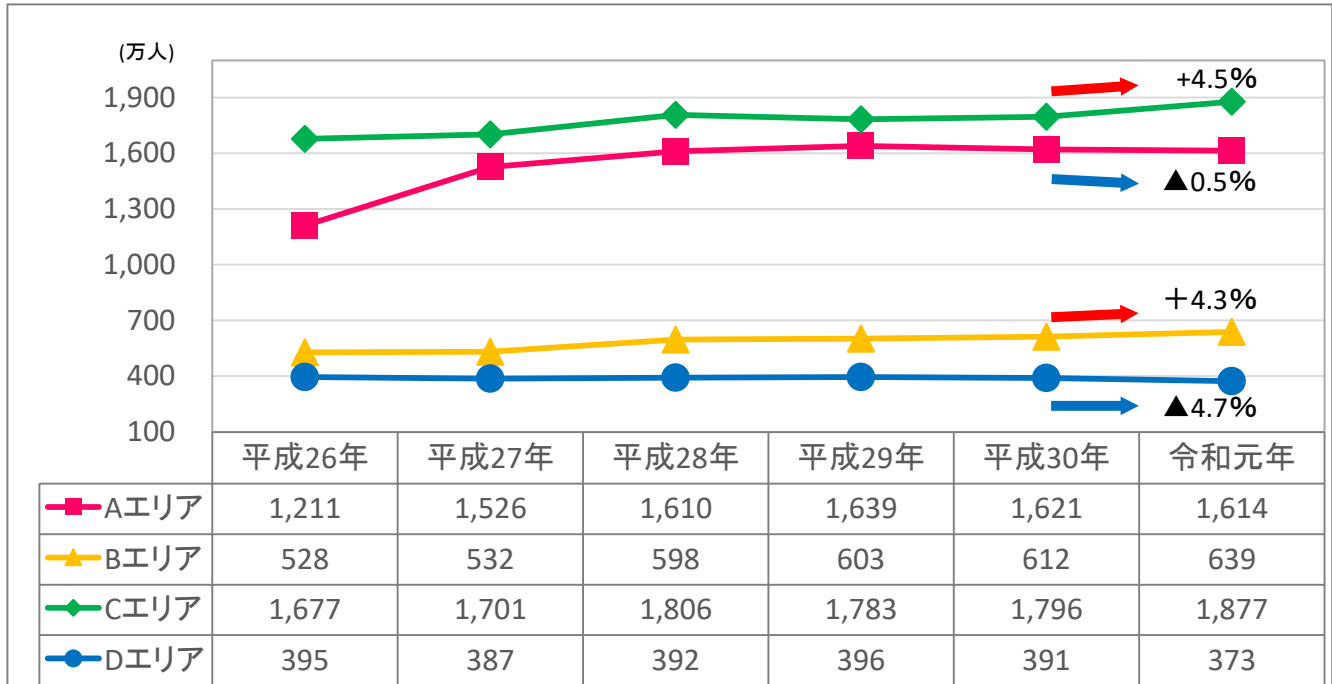
※ 千人未満を四捨五入しているため、内訳と計は一致しません。



A (県北部)	奈良市、生駒市、山添村
B (県西部)	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C (県東部)	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村
D (県南部)	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

2. エリア別観光客数

エリア別観光客数の推移【平成26年～令和元年】



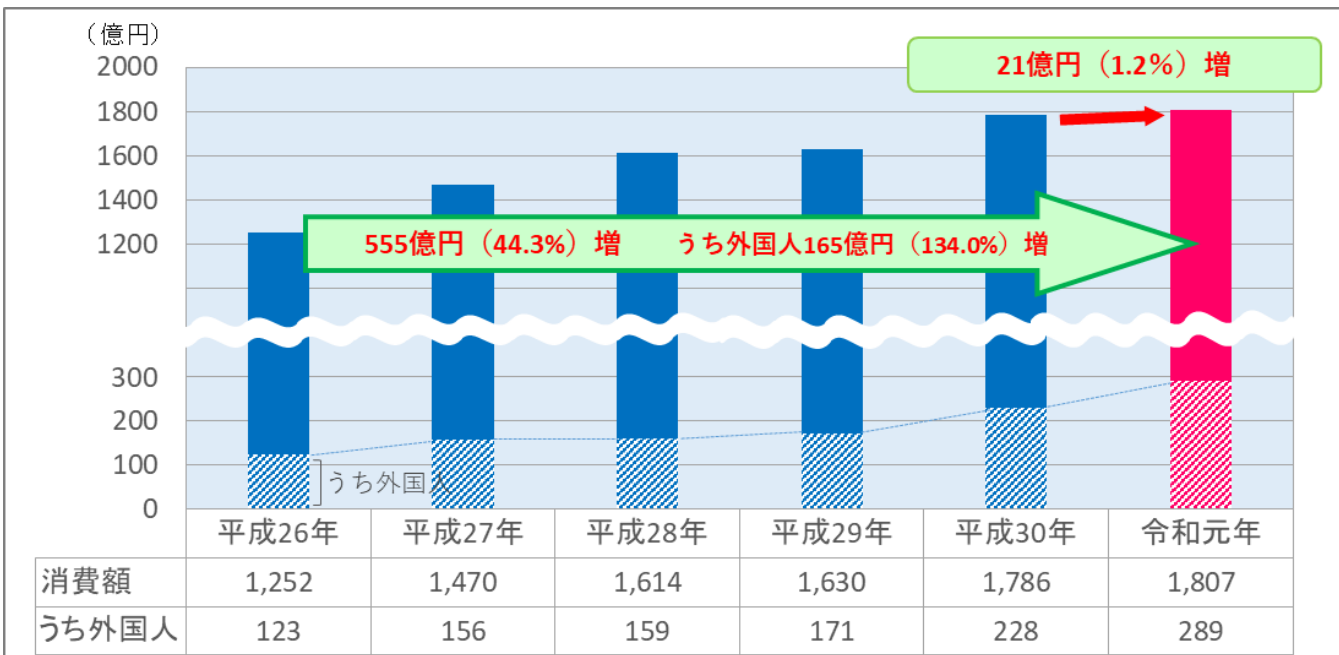
A	前年比： 8万人減 (▲0.5%)	訪日外国人観光客が増加し続けていることに加え、例年より会期が長かった「正倉院展」、10周年記念イベントが行われた「なら瑠璃絵」は賑わいを見せたものの、台風の影響による大規模イベントの中止・規模縮小などで、年間を通しては0.5%の減少。
	平成26年との比較： 403万人増 (+33.2%)	ここ5年間では、訪日外国人観光客の大幅な増加や、興福寺における中金堂落慶による賑わいの継続、オフシーズンにおけるイベントの定着などで、33.2%の増加。
B	前年比： 26万人増 (+4.3%)	桜などの花の見頃の時期は各地で賑わいを見せたほか、「馬見丘陵公園」や「唐古・鍵遺跡史跡公園」におけるイベント実施による賑わいの継続などで、年間を通しては4.3%の増加。
	平成26年との比較： 111万人増 (+20.9%)	ここ5年間では、馬見丘陵公園の来場者数の好調な推移や、平成30年4月の「唐古・鍵遺跡史跡公園」のオープン、信貴山エリアへの訪日外国人観光客の増加などで、20.9%の増加。
C	前年比： 81万人増 (+4.5%)	万葉集が典拠となる新元号「令和」への改元、JR東海キャンペーン「うましうわし奈良“長谷寺・奈良大和四寺編”“橿原神宮編”」の実施、キトラ古墳壁画の国宝指定により関係施設・社寺が賑わいを見せるなど、年間を通しては4.5%の増加。
	平成26年との比較： 200万人増 (+11.9%)	ここ5年間では、平成28年9月の「キトラ古墳壁画体験館 四神の館」のオープンや、飛鳥・山の辺などのエリア全体への訪日外国人観光客の増加などで、11.9%の増加。
D	前年比： 18万人減 (▲4.7%)	前年に比べ吉野山の桜の開花が遅れたものの見頃が長かったことから賑わいを見せた一方で、台風による「吉野川祭り納涼花火大会」の中止や野外活動施設等の利用者の減少などの影響で、年間を通しては4.7%の減少。
	平成26年との比較： 22万人減 (▲5.6%)	ここ5年間では、平成27年から始まった路線バス運賃キャッシュバックキャンペーンや、平成28年9月に運行開始された近鉄の観光特急「青の交響曲」の効果がみられるものの、天候の影響を受けやすく、5.6%の減少。

3. 宿泊・日帰り別観光消費額

令和元年の観光消費額は**1,807億円**で、前年比**21億円(1.2%)**の増加となりました。
平成26年と比較すると**555億円(44.3%)**の大幅な増加となりました。

前年比では、1人あたり観光消費額の平均は減少したものの、観光入込客数は増加したことが影響していると考えられます。

観光消費額の推移【平成26年～令和元年】



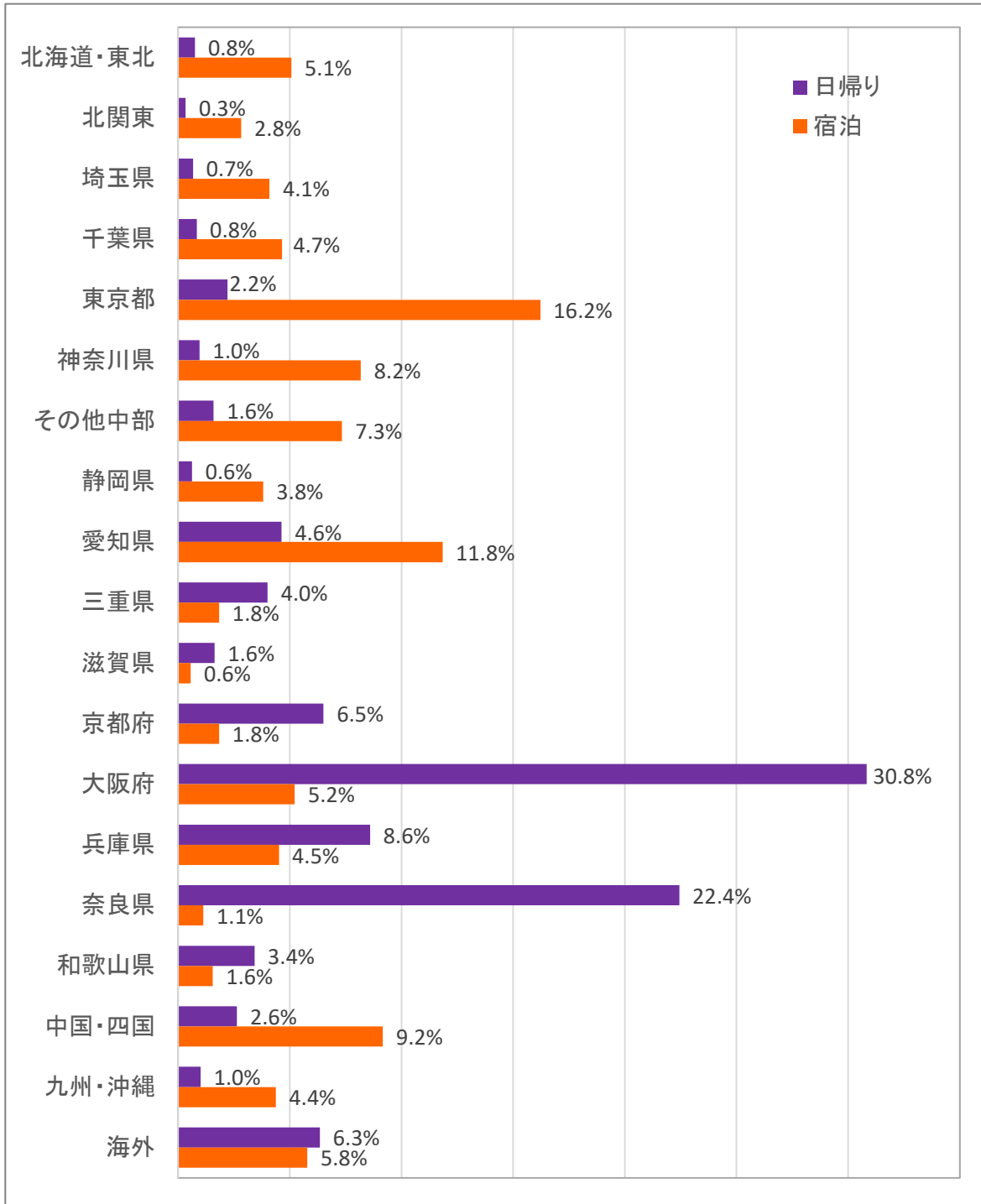
		平成30年	令和元年	前年比較	
観光消費額 (単位:百万円)					
観光消費額	宿泊	64,709	68,299	3,590	5.5%
	うち外国人	11,847	15,791	3,944	33.3%
	日帰り	113,911	112,392	-1,518	-1.3%
	うち外国人	10,935	13,096	2,161	19.8%
合計	178,620	180,692	2,072	1.2%	
うち外国人	22,782	28,886	6,104	26.8%	
1人あたり観光消費額 (単位:円/人回)					
1人あたり観光消費額	宿泊	27,451	24,807	-2,644	-9.6%
	外国人	28,015	27,079	-936	-3.3%
	日帰り	4,781	4,569	-212	-4.4%
	外国人	7,848	5,914	-1,933	-24.6%
	合計(平均)	6,822	6,606	-216	-3.2%
	外国人	12,543	10,326	-2,217	-17.7%
観光入込客数(実人数) (単位:千人回)					
観光入込客数(実人数)	宿泊	2,357	2,753	396	16.8%
	うち外国人	423	583	160	37.9%
	日帰り	23,826	24,599	773	3.2%
	うち外国人	1,393	2,214	821	58.9%
	合計	26,183	27,352	1,169	4.5%
	うち外国人	1,816	2,797	981	54.0%

※観光入込客数(実人数)
延べ入込客数を基に、アンケート調査により得た観光客1人あたりの平均訪問地点数等を考慮し推計しています。

4. 来訪者の発地

■ 来訪者の発地割合（アンケートの回答者数：3,106人）

- ・日帰り観光客は近畿圏（73.3%）からの来訪者が多く、最も多いのが大阪府（30.8%）、次いで奈良県内（22.4%）、兵庫県（8.6%）となっている。
- ・宿泊観光客は関東圏（36.0%）や中部圏（24.7%）からの来訪者が多く、最も多いのが東京都（16.2%）、次いで愛知県（11.8%）となっている。



※ 奈良県内での宿泊を伴わない観光客を日帰り観光客として集計しています。

※ 回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。

地域ブロック	都道府県
北海道・東北	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
北関東	茨城県 栃木県 群馬県
その他中部	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県
中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

調査の概要(参考)

観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」(以下、「共通基準」という。)に準拠した調査を四半期ごとに実施し推計を行った。

なお、報告書内の数値は、端数を四捨五入して表記している。

観光地点等入込客数(延べ人数)調査

市町村が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に入込客数を調査し、県が集計。

【集計対象数】 … 272

【調査対象】

観光地点については次の①～③に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については②及び③の要件を満たすものを集計対象とした。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

アンケート調査

県内の10地点において、平均訪問地点数、観光消費額単価等について調査を行った。

【アンケート回答者数】 … 3,106人

【実施場所】

- | | |
|------------|-------------|
| ・ 東大寺 | ・ 信貴山朝護孫子寺 |
| ・ 唐招提寺 | ・ 法隆寺 |
| ・ ならまち格子の家 | ・ 石舞台古墳 |
| ・ 大神神社 | ・ 金峯山寺 |
| ・ 長谷寺 | ・ 道の駅「十津川郷」 |

【実施時期】

- | | | | |
|-----|---|-------|-------------------------|
| ・ 冬 | : | 平成31年 | 1月19日(土)、26日(土)、27日(日) |
| ・ 春 | : | 令和元年 | 5月25日(土)、26日(日) |
| ・ 夏 | : | 令和元年 | 8月3日(土)、4日(日) |
| ・ 秋 | : | 令和元年 | 11月16日(土)、17日(日)、23日(土) |